



リサイクルでつなくサステナブルな未来

# 協 ニュース

# 91

NOV. 2022

## Index

- 1 PICK UP コロナ禍により加速する容器包装の環境対応
- 4 シリーズ プラスチック資源循環促進法を考える
- 5 インタビュー SDGsアクション
- 6 明日、誰かに話したくなる pnn~プラのなぜ?なに?
- 7 容リSTUDIES 企画広報部 課長(コールセンター長) 大竹 恵美
- 9 容リSTATION 協会の主な取り組み内容をご紹介します
- 11 ecoワードバズル

コロナ禍により加速する

容器包装の環境対応



PICK UP

# コロナ禍により加速する

新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、巣ごもりなどへの容器包装においても、こういったコロナ禍に伴う行動様式の変化に

## 「TOPPAN S-VALUE® Packaging」で持続可能なパッケージを



### 凸版印刷株式会社

#### 創業から培ったパッケージ製造技術で脱炭素への貢献を目指す

1900年の創業以来、パッケージ事業を手掛ける凸版印刷(株)。2021年には、長年培った環境配慮などの技術・ノウハウを活かし、「TOPPAN S-VALUE® Packaging」を策定して取り組みを進めています。

「パッケージの開発においては、環境配慮はもちろん利便性も備えることが重要です。『ひと』『しゃかい』『ちきゅう』すべてに価値あるパッケージ、それがTOPPAN S-VALUE® Packagingのコンセプトです」(高澤宇史氏)

その理念を体現するのが、世界最高水準のバリア性能を持つ透明バリアフィルム「GL BARRIER」。アルミ箔から置き換えることで環境負荷の低減やリサイクル適性の向上も可能。電子レンジで使えるので生活者にとって利便性が高く、製造工程で金属探知機が使える

など企業にとっての付加価値にもつなげることができます。

「GL BARRIER」を活用した「チューブなパウチ®」は、胴体の素材を薄くしてプラスチックの使用量を大幅削減。柔らかく、中身も使い切りやすくなりました。



「GL BARRIER」により食品の鮮度保持期限を延ばすことが可能となり、フードロスの削減にも貢献。アルミを使用しないモノマテリアル化によりリサイクル適性も向上。

小ロットから対応可能なデジタル印刷専用接着剤「TOPMER®」。WEB通販でパッケージ印刷を受注できるサービス「EASY ORDER PACK®」も展開しています。

「使う資源を減らす“リデュース”を進めながら、使う方のお悩み解決も目指して開発をしました」

多様化するニーズに合わせ、デジタル印刷に

よるパッケージ製造方法も開発。専用の接着剤「TOPMER®」により、レトルト・ボイル殺菌や電子レンジにも対応できるパッケージを小ロットから製造可能にしました。

さらにはLCA(ライフサイクルアセスメント)の知見を活かし、CO<sub>2</sub>排出量を製品ごとに試算する社内ツール「Smart LCA-CO<sub>2</sub>®」も開発。LCAも踏まえたパッケージの環境配慮提案は、Scope3を含むサプライチェーン全体のCO<sub>2</sub>排出量の削減を課題とする企業に喜ばれています。

「世の中に流通している商品のほとんどに、パッケージが使われています。その製造工程のCO<sub>2</sub>排出量を削減することは、社会全体の脱炭素化にもつながると考えています」

2021年1月には「トッパングループ環境ビジョン2050」を策定し、「温室効果ガス排出実質ゼロ」「廃棄物ゼロエミッション」を目指すことを宣言。2030年に向け、マテリアルリサイクル率の向上、廃棄物最終埋立量削減などの数値目標を掲げています。

「使い終わった後に分別廃棄しやすい包装設計や、将来的なりサイクルインフラの進化を見据えたモノマテリアルパッケージなど、新しいパッケージの開発・創出に注力し、持続可能な社会の実現に貢献していきます」

ラミネートフィルム製パウチをそのままチューブにした「チューブなパウチ®」は、従来のラミネートチューブに比べ樹脂使用量を30%以上削減。



10月に東京ビッグサイトで開催された、パッケージの最新技術が一堂に会する「TOKYO PACK 2022」のブースを訪ね取材。

# 容器包装の環境対応

対応ほか社会に新常态が定着、ECの利用急増や家庭ごみの増加などが取り沙汰されています。対応すべく、今まさに急速な進化を遂げています。

「もったいないを、ほっとけない。」に込められた思い



## 花王株式会社

### つめかえやすさを追求してたどり着いた“つめかえない”という選択

ESGが国際的な潮流になっているなか、2019年にESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」を策定、2021年にはビジョン「未来のいのちを守る～Sustainability as the only path」を掲げるなど、長期的なESG経営に前向きに取り組んでいる花王(株)。企業広告シリーズ「もったいないを、ほっとけない。」のTVCMをプライムタイムに積極的に展開したのも、同社に日本特有の文化である“もったいない”の精神が根付いていることを、できるだけ多くの人に知ってもらいたかったからだと言います。

「我々が“この指と～まれ”と手を挙げることで、多くの方の共感を呼び、世の中全体が動くよう願って発信しました。当社は、生活者コミュニケーションセンターに寄せられるさまざまなご意見を参考に製品の改良を繰り返していますから、そういう意味では花王のものづくりはまさに、お客さまに育てていただいたようなもの。2016年に誕生したシャンプーなどのつめかえ容器『ラクラクecoパック』も、つめかえる際の『こぼれやすい』『中身が残ってもったいない』といったお客さまの声を反映して開発しました」(松本州平氏)

パック上部中央にある注ぎ口を本体ボトルに差し込むことで、安定した状態で真上から製品をこぼ

さず注ぐことができようになり、従来品よりもずっと簡単に、最後の一滴まで残さずつめかえられるように。

また、つめかえやすさを追求するうちに、社内で「本体ボトルにつめかえるのではなく、そのままつけかえてはどうか」という声が上がリ、並行して開発されたのが翌年に発売した「スマートホルダー<sup>®</sup>」です。さらに2020年に「らくらくスイッチ」が登場したことで、使用するプラスチック量を圧倒的に減らすことにも成功しました。

「いくら環境にいい容器を開発しても、使いづらいものであれば普及しません。やはり使いやすさやお客さまの価値になるようなものをつくり、そのうえで排出するプラスチック量を減らすことが重要です」

こうして完成した容器の技術の一部は、業界に共有していく方針だと言います。これからも、さらにプラスチックの使用量を削減しつつ、社会全体で可能な限り再利用を進めて循環型経済を実現すべく、その“指”を掲げ続けます。

「ラクラクecoパック」の利用向上を目的に、さらなる使いやすい容器(システム)を開発された「スマートホルダー<sup>®</sup>」。つめかえず“つけかえ”することで利便性・衛生性をアップ。

「ラクラクecoパック」にフックと吐出部「らくらくスイッチ」を装着するだけの簡単“つけかえ”。手間もさらに減らせるうえに、捨てる際の容積もボトルに比べて1/40に軽減。加えて“つりさげ”なので、お風呂掃除もらくに。

つめかえやすいだけでなく、従来容器よりも約20%も薄いフィルムを使用し、フィルム使用面積も約35%ダウンした「ラクラクecoパック」。つめかえ時間の大幅短縮や、つめかえ後の容器内残量の大幅減に成功。

「ラクラクecoパック」を「スマートホルダー<sup>®</sup>」に差し込んだ状態(左)と、「らくらくスイッチ」を装着してつりさげた状態(右)。



花王株式会社 研究開発部門包装技術研究所 グループリーダーの松本州平氏。背景の「kao」のロゴは、回収したつめかえ容器をリサイクルしてつくられた“おかえりブロック”で組み立てたもの。



レンゴー株式会社

より少ない資源で大きな価値を生むパッケージづくりを可能にした三辺可変自動包装システム「パルミラ」

コロナ禍により、感染のリスクを恐れずに商品を手に入られるネット通販は、一気に生活者にとって身近なものになりました。それに伴って、梱包用の段ボールや商品保護のために使用される緩衝材などの環境に与える影響も懸念されるようになりました。そこで注目されているのが、レンゴー（株）が2019年にリリースした国産初の三辺可変自動包装システム「PALMIRA（パルミラ）」です。

これは、商品サイズを自動計測後、商品を包装しながら縦・横・高さが最適な配送箱を自動製作するため、箱内部に無駄な空間ができず、従来の包装システムには欠かせなかった緩衝材が不要になるという画期的なもの。決められたサイズの箱に合わせて商品を入れていく従来の包装システムと違い、商品に対してジャストサイズの箱をつくるのが三辺可変自動包装システムのコンセプト。無駄な資材を使わずに済むうえ、輸送効率向上にも貢献できます。

「もともと当社ではケースの底面積はそのままに、高さだけ商品に合わせる“高さ可変包装システム”の開発に成功していました。しかし、高さだけでなく三辺可変でより配送箱をコンパクトにすることができれば、サイズが大きくなるほどかさむ配送費を抑えることができると、2014年にこのシステムの構想に取り組み始めました。開発当初はミカン箱のような形態の箱だったのですが、もっと見た目もきれいで使いやすいものにと改良を重ね、自由度の高い印刷デザインに対応でき、開封性に優れ、リサイクルしやすい現在のケース設計になりました」（吉田正徳氏）



商品サイズを計測しそのサイズに合わせてシートを加工、そこに商品を載せて箱を成形し、最後に蓋をかぶせてラベル貼りまでのすべてを自動で処理します。

いわゆる機械メーカーとは異なり、同社の主力製品は段ボール。その形態を第一に考えたからこそ、パルミラの開発にこぎつけることができたと言えます。

2022年7月には、パルミラを導入した（株）ビックカメラの物流現場改善・合理化が評価され、公益社団法人日本包装技術協会が主催する「第46回木下賞 改善合理化部門」を受賞しています。

より少ない資源で大きな価値を産み出すパルミラ。まさに同社がパッケージづくり、環境経営のキーワードに掲げる“Less is more.”を体現するシステムだと言えそうです。



パルミラの開発を手掛けられた、レンゴー株式会社 パッケージング部門包装システム推進本部 EC営業部副部長兼部長 吉田正徳氏。



開発にあたって苦労したポイントは、見た目の美しさも求められたこと。「受け取った方に喜んでもらえるような仕上げを追求しました」と吉田氏。

通常の梱包処理を行った配送箱(左)と、パルミラで自動包装した配送箱(右)の比較。

## 鹿児島県大崎町

### 住民の理解を得て、リサイクル率日本一を14回達成 “世界の未来をつくる町”として大手企業と協業

大崎町が廃棄物の分別・リサイクルに着手したきっかけは、1998年に埋立処分場が飽和寸前になったこと。取り組みを進めるには住民の理解が不可欠で、まずは町内に150ほどある住民組織「衛生自治会」のリーダーと一緒に、処分場の視察などを行ったと言います。

「意識したのは『説得よりも納得』。取り組みの主権は自治会に渡し、説明会の日程も住民の都合に合わせ、実際にごみ出しに深くかかわる女性に積極的に参加してもらいました。そういった活動で、行政だけではなく自分たちの課題でもあると認識してもらえたことが、行動変容につながったのだと思います」(中野伸一氏)

もっとも大変だったのは、2000年に分別を缶・びん・ペットボトルの3品目から16品目に増やしたこと。

「50音順の分別の手引きもつくりましたが、職員総出で朝6時からごみ収集に立ち会い、住民と一緒に分別を行いました。また、分別の“お手本”となるモデル地区をつくったことも、成功の一因だと思っています」

さまざまな施策を着実に進め、2006年からリサイクル率日本一を14回達成しています。

「無名だった町が、全国から視察が来る町になりました。企業のSDGsへの関心の高まりを受け、2021年度には県内外の企業13社から3億4,699万円の寄付も寄せられています。大崎町民にこういったメリットがあることも、取り組みを継続してこられた秘訣になっています」

現在では、分別は27品目に及びリサイクル率は83%と高い水準を誇ります。そこで新たに打ち出したのが、循環型社会を目指す『サーキュラーヴィレッジ・大崎町』構想です。

生ごみは2004年から週3回、家庭などから回収し、専用工場で堆肥化して販売。



「つかう側でできることはやり尽くした部分があるので、つくる側である大企業の誘致を始めています。例えばユニ・チャーム(株)とは使用済み紙おむつリサイクルの実証実験に着手しており、住民にも喜ばれています」

構想をさらに進めるため、CO<sub>2</sub>の削減効果など科学的な検証も進めています。最近は大崎システムの輸出も実現。インドネシア大学と鹿児島大学の研究をきっかけに、JICA事業としてジャカルタにリサイクルセンターもできました。

「20年も続けているので、今の若者たちには分別・リサイクルは当たり前になっています。“世界の未来をつくる町”として、大崎町の成功事例を普及させていきたいですね」



大崎町役場企画調整課課長 / SDGs推進協議会事務局局長の中野伸一氏にリモートインタビューを実施。



次世代教育にも取り組んでおり、故郷の活性化を担う人材育成を目指して「大崎町リサイクル未来奨学金制度」なども創設しています。



人口約1万2,000人の鹿児島県大崎町は、志布志湾に面する大隅半島の中央に位置。「SDGs未来都市」のなかでも先駆的な取り組みに指定される「自治体SDGsモデル事業」にも選定されています。一般社団法人大崎町SDGs推進協議会では「OSAKINI プロジェクト」と題して、住民・企業・行政の三者で協力しリサイクルのシステムを社会に実装する取り組みを推進、全国から視察も受け入れ中。

OSAKINIプロジェクト ▶ <https://www.osakini.org/>



#### シリーズ

#### プラスチック資源循環促進法を考える

2

2022年4月、いよいよ施行になった「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」(以下プラ新法)に関するポイントを連載で解説します。

2 020年7月のレジ袋有料化スタートから2年、マイバッグの普及も進み日本フランチャイズチェーン協会(JFA)加盟のコンビニでは、レジ袋の辞退率が73.8%(JFA調査、2021年度)と大きな効果がレポートされています。プラ新法ではさらに、スプーン・フォークなどのカトラリーやヘアブラシなど無償提供される「ワンウェイ(使い捨て)」プラ製品についても、12製品を対象品に指定。それらを多く提供する事業者の取り組みが不十分な場合は、勧告・公表・命令等の対象となります。ワンウェイプラスチックの使用の合理化へ向け、代替素材への切り替え、軽量化といった取り組みが各社で行われており、ここでもプラ使用量の削減効果が見られています。

#### 今回のポイント

✓ 無償提供される下記の12製品が使用の合理化対象になります

フォーク、スプーン、テーブルナイフ、マドラー、飲料用ストロー、ヘアブラシ、くし、かみそり、シャワーキャップ、歯ブラシ、衣類用ハンガー、衣類用カバー

次回

市区町村単独でリサイクル可能に排出・回収・再商品化のポイント

# キーパーソンに聞く ITが循環型社会にもたらすもの

## 廃棄物処理業界のさまざまな課題を解決する環境ITソリューション

事業活動から生じる産業廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」によってその適正な管理が厳しく定められています。しかし、産業廃棄物業界にはさまざまな課題が存在するのが実情です。

廃棄物を複合的に扱う処理業者には、非常に複雑な業務管理が求められます。一般の廃棄物を受け入れた場合は処理費用を受け取りますが、資源として市場価値の高い鉄や古紙、ペットボトルなど

は買い取ることとなるので逆にお金を支払います。一つのトラックに、買うものと処理費用をもらうものが混在しているケースもあり、このように複雑な業務を総合的に管理するには、ITを活用した基幹システムが欠かせません。

また、産業廃棄物を適正に処理するまで管理する責任は排出する企業にあります。管轄する自治体によって廃棄物の収集・運搬・保管・処分・管理に対するルールの見解が異なることから、複数の自治体にまたがって事業を行っている企業にとって、その責任を果たすのは容易なことではありません。各自治体で適切な処理ルートを確認するには、自治体の見解と考え方の整理が必要だと考えJEMSで



“生活者一人ひとりの意識が変わって社会全体の機運が高まれば、ITをベースとする産業廃棄物の資源循環の仕組みづくりも加速し、うまく動いていくのではないのでしょうか”

### 須永 裕毅氏

株式会社 JEMS 代表取締役



さらなるシステム開発に取り組み、2022年4月には資源循環のトレーサビリティシステム「Circular Navi」をリリース(画像は管理画面)。例えば、回収された食品トレーの含有率などが証明可能に。

は現在、129の自治体のデータベースを用意しています。これまでは産業廃棄物というと、適正処理が最優先でしたが、最近ではSDGsやESG経営の観点から、CO<sub>2</sub>排出量削減やリサイクル率の向上、脱炭素化への取り組みも求められるようになりました。多少コストがかかっても、なるべく環境負荷の少ない処理方法を選択する企業も増えつつあります。廃棄物を出す側と処理する側、我々が持つ双方のデータを見直すことで資源循環や環境に配慮した廃棄物処理に貢献できるのではないかと考えています。

大掛かりなプラントの改造をしなくても、ITで解決できる問題はたくさんあります。例えば臭気センサーなどのちょっとしたITパーツによって、リチウム電池の発火による火災を防ぐことも可能となります。資源循環において、ITの活用は非常に有用な手段なのです。

すなが・ひろき●計量器のデータ処理を皮切りに、産業廃棄物業界に参入。1998年に収集運搬・処理会社向け廃棄物総合管理システム「産廃將軍」を販売開始すると、2002年には廃棄物の総合管理ASPサービス「GENESYS-ECO」を発売、「産廃將軍」を「環境將軍R」にリニューアルするなど、廃棄物業界の基幹・管理システムを先駆的に開発。また東日本大震災では災害廃棄物の輸送管理システムも受託。



「行動の10年」(Decade of Action)は、貧困やジェンダーから気候変動、不平等、資金不足の解消にいたるまで、世界の最重要課題すべてについて、持続可能な解決策を加速度的に講じることを求めています。

明日、誰かに話したくなる



本の基

## プラのなぜ?なに?

プラスチックの基本と、あっと驚く雑学ネタをご紹介します。  
プラスチックやリサイクルに関する知識や興味を深めて  
地球にやさしい“循環する暮らし”を。



### 再生利用だけじゃない! プラリサイクルあれこれ

リサイクルといえば、プラのまま原料にして新しい製品をつくる「**マテリアルリサイクル**」(いわゆる再生利用)が一般的ですよね。しかし、ほかにも科学的に分解して油やガスなどに変換する「**ケミカルリサイクル**」や、廃棄物を焼却することで発生する熱エネルギーを利用する「**サーマルリサイクル**」などがあります。さまざまな方法で、プラごみを再利用しているんです。

#### マテリアルリサイクル

リサイクル例

- パレット・車止め
- 擬木・ごみ袋
- プランター など



#### ケミカルリサイクル

リサイクル例

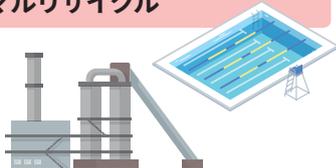
- モノマー
- コークス炉化学原料
- ガス、油 など



#### サーマルリサイクル

リサイクル例

- 発電・ボイラー
- 温水プール など



### 実はエコな**プラ**製紙幣!



オーストラリアのポリマー紙幣。一般に手に入りにくい素材を使うことで偽造防止にも役立つ。

世界には、いろんな素材のお札があります。なかには、「ポリマー紙幣」と呼ばれるプラでできたお札があることを知っていますか? 1988年にオーストラリアで生まれ、今では20か国以上の国々で発行されています。うっかり洗濯してしまったというようなときも安心の耐久性が特徴で、長く使えるのでコスト的にも安上がりというエコなお札なのです。

COLUMN

## それゆけ! 元プラ調査隊

プラスチックから生まれ変わったモノを我々は絶対に見逃さない!



VOL.2

## 道端のポール

車道や歩道に設置されるポールも、廃プラから生まれ変わったもの。リサイクルされた環境に優しいポールが、みんなの安全を守っています!

容器包装のリサイクルにかかる費用は税金ではなく、容器や包装を利用、製造、輸入する特定事業者が再商品化のための委託料金として指定法人（日本容器包装リサイクル協会）に支払っています。委託料金を支払うことで再商品化義務を果たしたと見なされますが、その責任を果たしていないのが義務不履行事業者であり、“ただ乗り事業者”と呼ばれます。

### まだまだ認識が不足している再商品化義務

1995年に制定された容器包装リサイクル法（容リ法）では、拡大生産者責任（EPR）の考え方が取り入れられ、家庭から排出される容器包装ごみを資源として再商品化（リサイクル）する義務は、市区町村だけでなく特定事業者も負うことになりました。

再商品化義務の履行方法に「指定法人への委託」を選んだ特定事業者は一年間に利用、製造、輸入した容器包装の重量を基に再商品化義務の対象量と委託料の金額を自身で計算します。委託料金を指定法人に支払うことで再商品化義務を果たすこととなりますが、支払いをせず義務を果たしていない事業者も存在します。こうした事業者は義務不履行事業者になるため、「ただ乗り事業者」と呼ばれています。

容リ法は、自主申告により委託料を納める仕組みです。コンプライアンスや資源循環に対して意識の高い事業者は適切に手続きをしていますが、まだまだ周知が及んでいないのが現実です。再商品化義務を負うことを知りながら義務を果たさない悪質なただ乗り事業者もありますが、自社に義務があることをご存じない事業者も一部に存在します。実際にコールセンターには、「当社事業は対象になるのか？」という問い合わせもあります。

令和3年度、再商品化義務を果たした事業者の数は80,253社でした。この数字にはコンビニエンスストアなどのフランチャイズ店を含みますが、除いた数字は以下の表のとおりです。

#### 再商品化義務を履行する必要がある事業者

- ① 特定容器製造等事業者
- ② 特定容器利用事業者
- ③ 特定包装利用事業者

#### 主たる業種別の委託申込者数（令和3年度）

主たる業種名（製造業）		主たる業種名（商業・サービス業）	
	委託申込者数		委託申込者数
食料品製造業	3,932	酒類卸売・小売業	288
清涼飲料・茶・コーヒー製造業	285	医薬品卸売・小売業	255
酒類製造業	377	食料品卸売業・小売業	4,105
油脂加工製品・石鹼・合成洗剤・界面活性剤・塗料製造業	97	苗・種子卸売・小売業、花、植木卸売・小売業	176
医薬品製造業	317	その他の卸売・小売業	3,279
化粧品・歯磨・その他の化粧品用調整品製造業	224	サービス業	751
農林・漁業	494	その他の業種	743
その他の製造業	2,586	<b>合計</b>	<b>17,909者</b>

再商品化は事業者の義務です。「同業他社が委託料の支払いを怠っている」というお声が寄せられることもあります。事業者の責任として、いま一度、考えていただきたい課題です。

## 大竹 恵美

企画広報部  
課長(コールセンター長)



## 循環型経済の実現のために果たすべき役割

容り法違反であるただ乗り事業者を放置すると、再商品化義務を適正に果たしている事業者が過剰な費用負担を負うことになりかねません。また、容器包装リサイクル制度の持続性を損なう恐れもあり、法令遵守の面からも問題です。

ただ乗り事業者への対応は、管轄省庁である財務省、国税庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省が担います。指導、助言、勧告、公表、命令することができ、これまで127件の社名公表と命令措置が取られています。当協会は容り制度の運営を担う組織として、主務省庁の担当者

と連携を密に行い、積極的な情報提供に取り組んでいます。

協会のできる対策として年に複数回、申し込みや支払いをお願いする文書を発送し、加えて制度の周知のため各種業界団体への働きかけや個別訪問を積極的に行っています。さらには講演会や説明会を行うなど、容り法をご存じない方に向けた啓発活動にも力を入れています。しかしながら、コールセンターには「委託料を納めていない会社があるのは不公平だ」というお声が寄せられることがありますので、より一層、対策に力を入れてまいります。

## 循環型社会実現には対策は急務

SDGsへの意識の高まりもあり、企業はESGの観点での配慮が求められています。商品を購入する生活者の視線を意識することで企業の姿勢も変わってきたのではないのでしょうか。そういう意味では、再商品化義務を果たした特定事業者名を当協会ホームページで公開していますので、生活者への訴求に役立てていただければと思います。

国の目指す資源循環を実現するためにも、ただ乗り事業者対策は急務です。容り法では、容器包装が廃棄・リサイクルされる段階まで責任を負うというEPRの考え方が取り入れられ、再商品化義務の履行はSDGs目標12「つくる責任 つかう責任」そのものです。今後も積極的に関係者に働きかけるとともに、啓発活動を続けていくことも協会としてSDGsへの大事な取り組みのひとつです。



### JCPRA's ACTION

### 協会の主なただ乗り事業者対策

#### 主務省庁の指導につながる情報の提供

- 業界専門紙を利用し情報収集した「ただ乗り事業者リスト」の提供
- 国との定例会議を利用した情報共有
- 国の要請に基づいた申込関連情報データの提供
- 指導の継続実施と強化の依頼

#### 業界関連団体を通じた周知啓発活動

- 評議員団体に会員企業に向けた容り法の情報発信を依頼
- 特定事業者関連団体への訪問

#### 媒体・イベントを利用した活動

- 再商品化義務履行者リストの更新(ホームページ)
- 再商品化委託料金の掲載(ホームページ)
- 日本商工会議所広報紙での連載及び容り法啓発広告
- 各種イベント出展

### St.1

## 令和5年度市区町村からの 引き渡し量に関する調査結果を ホームページに掲載

当協会では、市区町村からの本申込前に例年次年度の引き渡し量に関する調査を実施しています。

令和5年4月1日から「プラスチックに係る資源循環の促進等に係る法律」が運用開始となり、容リ協へプラスチック製容器包装以外に製品プラ、産廃プラの引き渡しが始まるため、今回の調査ではその予定量も調査いたしました。今まで調査結果は非公表でしたが、市区町村、再生処理事業者からのご要望が多かったため、引き渡しを予定している市区町村の製品プラ、産廃プラの量を都道府県別にまとめた内容を令和4年9月15日にホームページに掲載しました。詳しくは協会ホームページよりご確認ください。



### 容リ協に委託する場合

#### 市区町村

プラスチック使用製品廃棄物の分別収集

指定保管施設での選別・梱包・保管

容リ協への引き渡し

#### 容リ協の委託を受けた 再商品化事業者

選別

再商品化

容リ協が容器包装リサイクル法及びプラ新法に基づき  
プラスチック容器包装廃棄物の再商品化を実施

### St.2

## 令和4年度下期PETボトルの 落札結果をホームページに掲載

PETボトルは、上期(4月～9月)と下期(10月～翌年3月)の年2回に分けて入札を行っており、7月12日～8月1日にかけて令和4年度下期分の入札が行われました。

### 落札単価(加重平均) (消費税抜き)

単位：円/トン

	令和4年度	令和3年度	増減
ガラスびん 合計	10,836	9,821	1,015
無色	6,980	6,449	531
茶色	7,859	7,127	732
その他の色	15,844	14,485	1,359
PETボトル 	上期 -64,196	上期 -7,923	-56,273
	下期 -115,369	下期 -42,949	-72,420
	通期 -87,210	通期 -23,675	-63,535
紙製容器包装	-2,805	16	-2,821
プラスチック製容器包装 合計 (白色トレイ含む)	55,501	56,415	-914
◆ プラスチック 合計 (白色トレイ除く)	55,496	56,411	-915
● 材料リサイクル	60,328	60,816	-488
● ケミカルリサイクル 合計	49,236	51,312	-2,076
高炉還元剤化	41,257	40,992	265
コークス炉化学原料化	49,448	53,427	-3,979
合成ガス化	53,155	48,992	4,163
◆ 白色トレイ	65,067	63,701	1,366

※ PETボトル・紙製容器包装の落札価格の「-」表示は、有償(再商品化事業者から容リ協会への支払い)を意味します。上表では逆有償も含めた加重平均単価を表示しています。

※ 白色トレイ: 食品用白色発泡性スチロールトレイを意味します。

下期PETボトルの加重平均落札単価は、マイナス115,369円/トンと前年下期よりマイナス72,420円/トンとなり、令和4年度通期ではマイナス87,210円/トン、令和3年度通期に比べマイナス63,535円/トンとなりました。詳しくは協会ホームページよりご確認ください。



## 令和5年度の再商品化委託申込は 令和4年12月7日～ 令和5年2月10日です

St.3

今年は12月7日から委託申込が始まりますので、ご準備をお願いします。手続きについてはホームページをご確認ください。

- 再商品化委託申込契約は単年度契約です。令和5年度の事業において再商品化義務の対象がある場合には申し込み、ない場合には非申し込みの手続きが必要です。
- 委託申込手続きは動画で確認できます。
- 「容器包装リサイクル制度説明会・個別相談会」を開催します。会場によっては個別相談会のみ開催もあります。



詳しくはこちらから▶

### お問い合わせ

容器制度、委託申込  
に関するお問い合わせは…

コールセンター

03-5251-4870  
03-5251-4871  
03-5251-4872

お問い合わせは メールでも受け付けています▶  
contactinfo@jcpra.or.jp



オンライン手続き  
に関するお問い合わせは…

オペレーションセンター

03-5610-6261

## St.4 新理事よりごあいさつ

世界が循環型経済を志向するなか、プラスチック資源循環促進法の施行をうけ、当協会は来年度より再商品化事業の範囲をプラスチック製品にまで拡大します。この新事業を含め、先々まで持続できる容器包装リサイクル制度の整備と運営を法務・ガバナンス、基幹システム面から支えるべく、力を尽くしてまいります。また、制度はもとより、当協会の担う役割についても広く社会にご理解いただけるよう効果的な情報発信に努めてまいります。



ながつか まさゆき  
長塚 真行

業務執行理事企画広報部長

※前職：旭化成株式会社 機関・株式会社  
(現ガバナンス室)室長



## 容器協日誌 (令和4年9月～11月)

### ● 容器協行事

9月5日	令和4年度下期PETボトル 落札結果概要・落札結果一覧・落札数量をホームページに掲載
15日	令和5年度市区町村からの引き渡し量に関する調査結果をホームページに掲載
10月3日	下期PETボトル落札結果をホームページの落札概要一覧表ページに反映
14～20日	紙容器事業委員会、プラスチック事業委員会、PETボトル事業委員会、ガラスびん事業委員会、総務企画委員会
21日	臨時理事会
25日	令和5年度市区町村申し込み開始(11月15日まで)
11月1～8日	市区町村担当者説明会
中旬	令和5年度登録事業者リストをホームページに掲載予定
中旬	令和5年度再商品化に関する入札についてホームページに掲載予定



## 令和4年度 市区町村からの引取実績 再商品化製品販売実績

### 1. 引取実績

		4～9月累計	
		引取量(トン)	前年同期比(%)
ガラスびん		163,418	97.8
内訳	無色	47,770	98.1
	茶色	50,929	100.0
	その他色	64,719	96.1
PETボトル		120,609	94.3
紙製容器包装		9,884	101.4
プラスチック製容器包装		345,030	99.3
内訳	白色トレイ	164	95.0
	プラスチック	344,867	99.3

### 2. 再商品化製品販売実績

		4～9月累計	
		販売量(トン)	前年同期比(%)
ガラスびん		159,225	97.6
内訳	無色	45,052	100.0
	茶色	49,922	102.5
	その他色	64,252	92.7
PETボトル		98,109	95.9
紙製容器包装		9,803	100.4
プラスチック製容器包装		234,250	99.0
内訳	白色トレイ	151	91.8
	プラスチック	234,098	99.0



eco

# ワードパズル

パズル制作/ニコリ



1		10	15		22		30	33
		11			23	26		
2				20				
		12	16			27	31	
3	7		17		24		32	34
	8	13		21		28		
4		14	18			29		
5	9				25			
6			19					

## 問題

ヨコとタテのカギを読んでマス目を埋めよう。  
A-Eの文字を並べてできるECOワードはなに？

ルール◎文字はすべてカタカナで、1マスに1文字を入れてください。小さい文字(ヤ、ヨ、ユ、ツなど)は大文字として扱い、長音「ー」は1マスに入れ、濁点・半濁点は取り出さず清音と区別します。

### タテのカギ

- 五輪で2位の人に授与されます
- 曲芸もする海の生き物。オットセイやトドに似ています
- 小数点〇〇3ケタで切り捨てよう
- 〇〇銭は寄席や見世物小屋で払うお金
- 〇〇〇〇まんじゅうにはあんこがたっぷり
- ここで花粉がつくれます
- つやを出すために塗る
- 言葉の〇〇を辞書で調べよう
- カツ丼や親子丼の上にちよっとのっていたりする
- 「こうしていくぞ」という目標や標語
- 韓国の通貨単位
- 十二支の三番目です
- 電子を表すアルファベット
- 遠回りのこと
- 〇〇〇〇をたいて写真撮影
- みかんの皮をむくとたくさん〇〇が入っています
- 世界を〇〇にかけて活躍する
- 英語でエッグ。  
紙製やプラスチック製のケースに入れられて販売されていることが多い
- これでつくられた箱に荷物を入れて配送することも多い

### ヨコのカギ

- ミルク。〇〇〇〇〇〇パックは再生紙にリサイクルされます
- 川の中に学校があると歌われる魚
- 〇〇は友を呼ぶ
- 見分けること。消費者がゴミを出すときの分別を容易にするため「PET」「アルミ」「プラ」などの〇〇〇〇マークが定められています
- 笑う〇〇には福来たる
- お化粧する部分
- 年末の大掃除を〇〇払いと言ったりします
- 渡してはいけない袖の下
- 名誉〇〇〇 〇〇〇運動
- お肉のこと。  
発泡スチロールではなく袋の簡易包装で売られるお肉もあります
- 排球といえばこのスポーツのこと
- 〇〇〇を惜しんで働く
- びんの原料
- 『裸の〇〇〇〇』はアンデルセンの童話
- ビールやジュースなどの瓶は〇〇ごとに分けて回収しています
- 現代。〇〇こそリサイクルに取り組みましょう
- アキアカネは〇〇〇の一種
- ペットボトルの〇〇を回して開ける
- 〇〇より高いものはない

パズルの答えと  
ecoワードの  
解説はコチラ



容リ協ニュース No.91 2022年11月発行

編集・発行：公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-14-1 郵政福祉琴平ビル 2階  
(企画広報部) tel.03-5532-8610 fax. 03-5532-9698  
URL : <https://www.jcpra.or.jp/>

●禁無断転載



この用紙は、FSC®認証材および管理原材料から作られています。